北新宿二丁目町会 facebook活用プロジェクト

成果報告会

2017年12月23日





本日のアジェンダ

- 1. ふりかえり
 - 1. プロジェクト概要
 - 2. 北新宿二丁目町会様Facebookページ開設と運営のふりかえり

- 2. 今後に向けて
 - 1. ママボノチームが考える「魅力的な町会」
 - 2. 若手世代に訴求する今後の防災教室アイディア
 - 3. Facebook運営マニュアル
- 3. 全体を通して…



北新宿二丁目様 ママボノ・プロジェクト概要



プロジェクトの背景~期待と支援内容のすり合せ~

10/18の打ち合わせにて、プロジェクトへの期待と支援内容を決定しました。

■現状の課題

①防災教室や防犯パトロールの 参加者に広がりがなく、高齢者 中心の同じメンバーになっている

■支援内容の仮説

解決策

1.イベントの魅力付け

■「防災教室」や「防犯パトロール」を若い世代に訴求するようにアレンジし、参加者を増加させる

目指す姿

- ■「防災教室」や「防犯パトロール」に若い世代が参加している
- ■自助努力の精神を育みながら、 幅広い世代が交流する場となって いる

本プロジェクト対象

②お祭りやこども縁日で町会の 活動をPRしたいが、そのツール がない

③イベントを一緒に運営してくれる若い世代の協力者がいない

|解決策 |

2.PRツールとしてのSNS開発

■ 町会のPRツールとして、 Facebookを立ち上げ、 活用指針と手順書を作成する

目指す姿

■SNS活用により、若い世代が 町会活動へ参加するようになって いる __解決策 _

3.次世代リーダーの育成

■ 若い世代をスカウトし、やりがいを感じてくれるような役割を与えて、次世代の担い手へと育てる

ゴール

- ■若い世代が、主体的に町会を 盛り上げる活動を行っている
- ■町会の次世代の担い手が育っている



プロジェクト概要

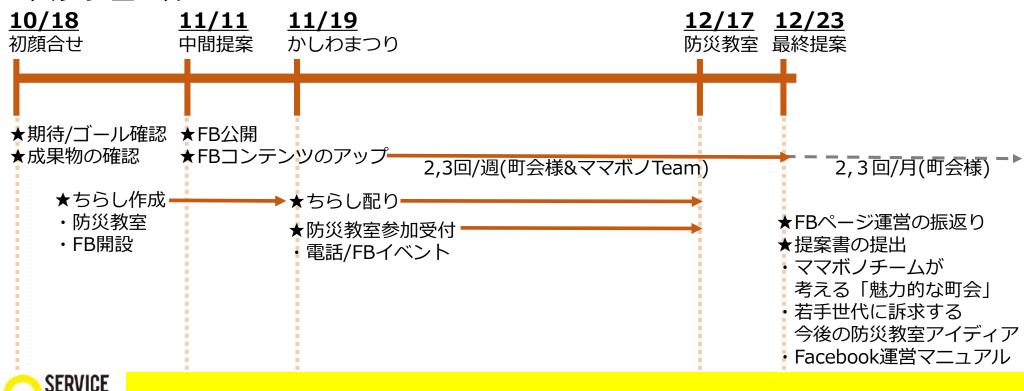


● 目的と活動方針

- · 目的:
- ①30-50代の新しい若手が、町会・柏木地区を知り親しむきっかけを、Facebookを通じて提供する
- ②プロジェクト期間中に開催される防災教室への集客をFacebookのイベント告知を活用して行う
- ・活動方針:
- ①町会ページをたちあげ、町、柏木地区、町会、人、イベントの魅力を発信し、ファンを増やす
- ②いいね!等の数値的な目標よりも、まずは始めること・無理なく運営を続けることを大切にする)

● スケジュール

GRANT



プロジェクト活動内容(ママボノチーム実施分)

● 活動

- 初顔合わせにてご要望のヒアリング
- 既存のFacebookページのリサーチ
- Facebook開設告知及び避難所教室のチラシ作成/納品
- Facebookページの立ち上げ
- Facebook記事の作成/投稿
- 「かしわまつり」にてチラシ配布のサポート
- Facebook運営のフォロー
- Facebookにて避難所教室のイベント告知
- 避難所教室への参加
- Facebook運営マニュアルの作成

● 納品物

- 北新宿二丁目町会様Facebookページ、投稿、イベント告知
- Facebook開設告知のチラシ、避難所教室のチラシ
- 北新宿二丁目町会様用メールアドレス
- Facebook運営マニュアル
- ママボノチームが考える「魅力的な町会」
- 若手世代に訴求する今後の防災教室アイディア
- ★本日最終納品
- ★本日納品
- ★本日最終納品



北新宿二丁目町会様の Facebookページ開設と運営 ふりかえり



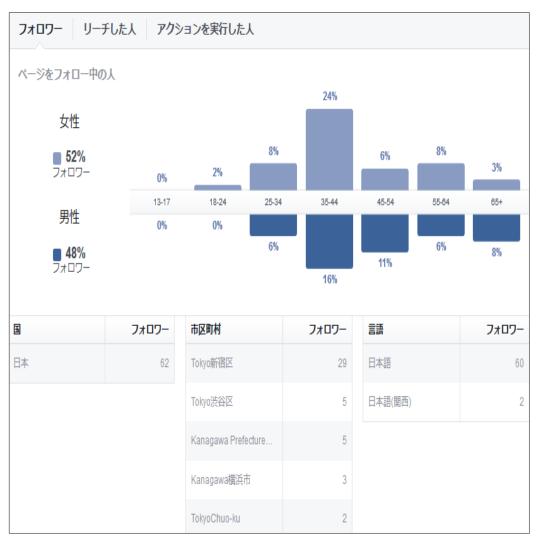
北新宿二丁目町会ページの開設、いいね!

- ・ 12月20日現在、56人からの「いいね! | を獲得。
- ・11月11日のFacebookページ公開以降、継続的に「いいね!」が伸びています。
- ・投稿、投稿のシェア、投稿へのコメント、町会のFacebook友達の増加、イベント開催報告、などをきっかけに増加しています。
- ・「いいね!」獲得により、ページへの信頼性が向上します。また、「いいね!」してくれた友達の友達に、 町会ページがNewsFeedで表示される可能性が高くなり、ページを知ってもらえる可能性が高まります。
- ・今後も継続的に、投稿、投稿へのコメント、イベントの紹介、町の魅力発信、などのFacebookページでの活動と並行して、実際に人と会って、町会ページを開設して楽しく運営していることを伝えて、リアルでもつながっているFacebookの仲間を増やす活動をしていくことが大切です。





いいね!よりも多いページのフォロワー



- ・12月20日現在、62人のフォロワーを獲得 (いいね!56人より多い)
- ・フォロワーのうち、ターゲットとしたいのは、 新宿区在住の方 → 29人 25-64歳の世代 → 85%以上
- ・ターゲット層への認知度を高める活動を実施 ①新宿区在住の方をターゲットに宣伝を行う (ちらし配り、瓦版、ポスティング)
 - ②継続的に投稿&コメントを行う
 - ③新しく引越してきたタイミングで案内する
 - ④ターゲット層が集まるイベントで告知するなど
- ・一度獲得したフォロワーが抜け出さない投稿



5週間で19投稿! (週3,4回の高頻度ペース)

- ・最初にユーザーを獲得するため、防災教室までは高頻度(週2,3回)の投稿を計画。
- ・防災教室のイベント告知に偏らず、町会と町の魅力と活動を発信する計画とした。
- ・実際は、予定していた14件の投稿に加えて、5件の追加投稿で、週3,4回の投稿を実施。
- ・今後も、町の魅力やイベントなどを継続的に投稿し、町会の活動と魅力を発信していく。





主新第二丁目初会

視聴者ランキング TOP10

- ・「ごあいさつ」はシェア6件、1200人にリーチ。
- ・フォロワー数を大幅に超えた閲覧数から、Facebookの宣伝効果の高さが伺える。
- ・町会を彩る人物紹介(原さん)、防犯パトロール、地域清掃の日、のクリック数が多く、多くの方が興味を持って、投稿を読んだことが読み取れる。
- ・開催レポートは、参加者からのコメントなどが得やすく、リアクション数を獲得しやすい。次回以降の 参加を促すきっかけにもなるので、大切にしたい。





※クリック数・リアクション数の順位は、リーチ数TOP10内での順位付けとしています。実際は、全投稿での順位付けでは異なります。

※リーチは、①「オーガニック」リーチ(NewsFeedまたはFacebookページにアクセスして投稿を見た人の数)、②「有料」リーチ(Facebookに広告を出し、それを見たユーザー数)、 ③「クチコミ」リーチ(友達の「いいね!」やシェアを見た人の数)、の3種類が含まれます。

視聴者の年齢・市町村区分

・リーチした1511人のうち、
 新宿区在住は、151人。
 狙いである30-50代の世代へのリーチが90%以上を占める。
 25-34歳の年齢では、ファンではない人にリーチしている割合が高い。
 *ママボノプロジェクト終了後は、視聴者の分布が変わることが予想される。
 (ターゲット層へのリーチ率が伸びる可能性が高い)





ページの投稿・運営について①

【総評】

ページを立ち上げたことにより、1000人以上の北新宿2丁目町会への認知は得られた。町会様・ママボノメンバーを中心に、いいね!やシェアを行い、リーチできている人は日々広がりをみせており、町会活動を知り、応援してくれるきっかけ作りになったと考える。

【投稿の負担】

コンテンツの投稿スケジュール・内容を決めていたので、何を書くか、ということで迷うことはなかった。

今後も継続していくためにも、コンテンツテーマをある程度決めておいた方が投稿者にとって負担が軽くなると考える。

しかし投稿者の不測の事態で投稿できない場合にはスケジュールを変更 するなど柔軟さも持っておかないと、投稿すること、継続すること自体 が辛くなっていってしまうのではないだろうか。

個人ページではないので、内容や表現を慎重に吟味しなくてはいけない 1面もあり、気軽に投稿することにハードルがある。



ページの投稿・運営について②

【今後の展開】

今後も、まずは町会活動・人を知ってもらうために投稿を継続することが大切。

その上で、より柏木地域に住む子育て世代や若者に見てもらえるようにするため、柏木地域センターで活動しているサークルや団体・近所の町会ページと相互に紹介し合ったり、認知度を上げていく活動が必要ではないだろうか。

投稿を継続していくためには、投稿には負荷があるため、今後は町会に 関わるより多くの人が投稿できる体制ができていくといい。

Facebookページ運営ボランティア募集は継続して投げかけていく。



今後の投稿は、継続が力なり。

- ・かしわうさぎのさんぽ、町会を彩る人物紹介、イベント告知と開催レポートなど
- ・若い世代に集まってもらいたいイベントについては、開催して実際に楽しい・意義ある時間になることのPRなどを積極的に行う、若い世代が集まりたくなるような要素を盛り込む、などの活動を行っていきたい。(実際に、参加してよかった、と思う人を1人でも増やしていく活動)
- ・そのうえで、幅幅い世代が多数参加して盛り上がるイベントで宣伝・案内し、集客につな げていくことが、好循環をもたらすことが期待できる。

今後の投稿案

17	投稿: イベル告知- 歳末パトロール	
18	投稿: イベナー 歳末パトロール実施	
19	投稿: イベル告知-もちつき	
20	投稿: 町会の紹介(人の紹介その3~とびさん、山田さん母、ともえこう、宮坂さん…)	
21	投稿: かしわうさぎのさんぼ〜その2. 神輿、神田川の遊歩道、小学校…)	

町会様年間イベント

開催月	内容	人数	集客力
3月	餅つき @小学校	300人以上	0
5月	こども縁日 @どんぐり広場	100人以上	0
8月	盆踊り	4000人	\circ
5月 +10月	ゴミゼロデー	小学校授業	0
年2回	地域センター祭り出店		\circ
年2回	防災教室	30~48人	\triangle
夏休み +歳末	防犯パトロール	10~15人	Δ



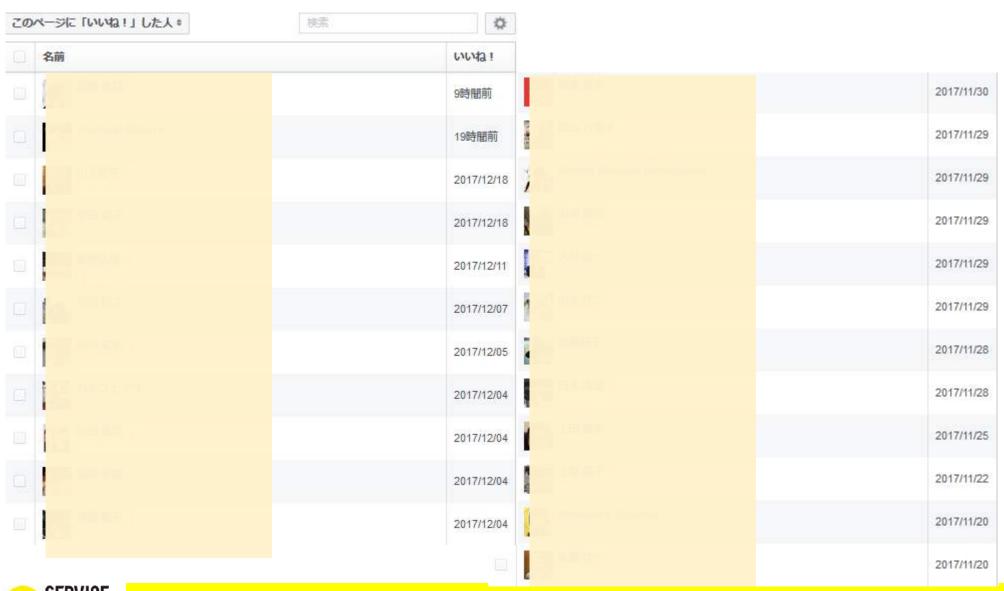
参考:ページにいいね!した人・フォロワーの確認方法

町会ページトップから、「設定」→「人物と他のページ」をクリックして確認できます。





参考:ページにいいね!した人・フォロワー(1/3)



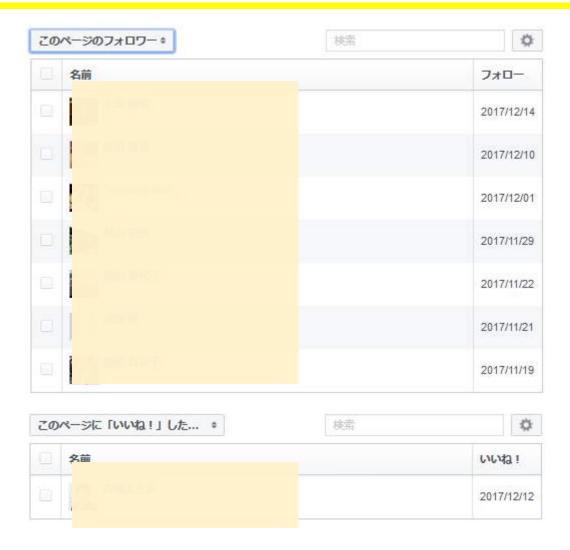


参考:ページにいいね!した人・フォロワー(2/3)





参考:ページにいいね!した人・フォロワー(3/3)





参考:投稿の反響、ファンのオンライン時間帯を確認する方法

町会トップページから、「インサイト」→「投稿」をクリックして確認できます。





ママボノチームが考える「魅力的な町会」



1.本資料の目的の共有

▶ 本資料の目的は、初回打ち合わせ時にご依頼いただいた「どんな町会なら入りたいか」にお答えすることです。資料作成においては、ターゲットを「子育て世代」とし、ターゲットに該当するママボノチームメンバー7名にてアンケートを実施、その結果を踏まえてディスカッション致しました。

▼本資料の目的 「どんな町会なら入りたいか」まとめ

①ターゲットに該当するママボノチームメンバー7名にてアンケート実施 ※別紙参照②アンケート結果を踏まえて、メンバーにてディスカッション

______. ..

▼ゴール 今後の町会活動の参考にしていただく



2. 町会の現状

▶ 昔から住む住民の高齢化により、町会の次の担い手が不足しています。 一方、新しく転入してくる若い世帯は、マンション住まいが多い事も あり、町会を認知する機会が不足しています。また、会費を払ってま で入会するメリットが感じられず、役割の負担も懸念しています。

> 「既存の加入世帯」 昔から住む住民



「高齢化」

- ・町会活動に参加するのがいつも同 じ顔ぶれ
- ・町会の次の担い手が不足している





新しく転入した若い世帯

1. 「認知不足」

まず町会を知る機会がない

2.「金銭的負担を懸念」

会費を負担するまでの加入メリットがわかりずらい

3. 「役割負担を懸念」

役割の負担が多いイメージ



3.ターゲット設定:子育て世代

▶ 新しく転入した若い世代のうち、近所での行動が多くなり、近所付き合いに興味を持ち始め、有事の際の危機意識が高まる「子育て世代」をターゲットとします。次項より、ターゲットの思考と行動パターンを分析します。

ターゲット:「子育て世代」

1.近所での行動が多い

- ・小さい子どもを連れての遠出は大変な為、近所で行動することが多くなる
- 2.近所付き合いの重要性を感じ始める
 - ・日頃の挨拶など、子どものしつけにもなるので近所付き合いを大切に感じ始める
- 3. 有事の際の危機意識が増す
 - 「いざという時に小さな子どもの命を守れるか」危機意識が高まる



4.子育て世代の休日の過ごし方

▶ 「普段休日に親子で何処に出かけますか?」の問いに対して、「公園、 児童館、キッズスペース、BBQ、スポーツ観戦、親子イベント」等の 回答があり、理由としては「近いから、子どもが安心して体を動かせ るから、子どもも楽しめる家族の時間を過ごしたいから」等が挙げら れました。

Q.普段休日に親子で何処に出かけますか?



公園、児童館、キッズスペース、公園でピクニック・BBQ、動物園、水族館、友人宅、ショッピングセンター、百貨店、美術館、スポーツ観戦、親子向けイベント etc..



近いから、子どもが安心して体を動かせるから、年上の子どもとの関わりもあり子どもの成長に良さそうだから、子どもも楽しめる家族の時間を過ごしたいから、家族で自然のものに触れたいから、 親の関心があるから etc..



5.今までに参加した地域主催イベント

▶ 「今までに参加した地域主催のイベントを教えてください」の問いに対して、「お祭り、山車、商店街ハロウィン、クラフトビールオクトーバーフェスト」等の回答があり、その理由としては「子どもに体験させてあげたかった、パパも一緒に楽しめるから、美味しいものが食べられるから」等が挙げられました。

Q.今までに参加した地域主催のイベント、活動を教えてください。



お祭り、山車、商店街ハロウィン、ベビーマッサージ、寝相アート、ヨガ、子どもお話会、 紙芝居、餅つき大会、クラフトビールオクトーバーフェスト



子どもに体験させてあげたかったから/良い刺激になるから、子どもの成長記念写真になるから、 近所で子どもが一緒に楽しめるから、パパも一緒に楽しめるから、美味しいものが食べれるから etc..



6. どんなイベントがあれば参加したいか

▶ 「どんなイベントがあれば参加したいですか?」の問いに対して、 「子どもが喜ぶイベント、子どもも大人も楽しめて学べるイベント、 パパも楽しめるイベント、美味しいものが食べられるイベント」等の 回答がありました。

Q.どんなイベントがあれば参加したいですか?



子どもが喜ぶイベント、子どもも大人も楽しめて学べるイベント、 パパも楽しめるイベント、美味しいものが食べられるイベント

- ・子連れコンサート、防災知識が身に付くイベント、
- ・子ども(幼児)向け工作ワークショップ
- ⇒保育園で作ってくるような素敵な製作物を親子でも作ってみたい
- ・月別合同お誕生日会⇒バースデーソングを歌ったり、ゲームやプレゼントにお菓子の詰め合わせ等。同じ月の誕生日のお友達が地域に増えるので etc…

⇒キーワード『子どもも、パパママも、 楽しい!美味しい! (+a学べる!)』



7.子育て世代が住む町に期待すること

▶ 「住んでいる町に来たいする事は何ですか?」の問いに対して、 「安心安全、清潔、挨拶、非常時の繋がり」が挙げられました。

Q.住んでいる町に期待する事は何ですか?



【安心安全、清潔、挨拶、非常時の繋がり】

- 子どもを親戚でない大人にも見守ってもらい、<u>声をかけてもらえることで孤育ての克服</u>ができる
- 近所の人と挨拶を交わす事で、挨拶の大切さなど自然としつけにもつながる
- 子育て世代の親だけでは教えられない文化を学べる。盆踊り、太鼓などの体験ができる。
- 祖父母が遠方に住んでいる方にとっては、町内会の先輩方が祖父母のような存在になる
- 有事の際の安否確認が出来る、町内会の人たちが子どもの見守り隊になってくれる。

⇒近所に大勢の家族がいるような環境 「遠くの親戚より近くの他人」



8.今後の町会活動のキーワード

▶ 前項までの集計と分析の結果、今後の町会活動のキーワードは、 「子育て世代と町会の先輩方(高齢者)を「楽しい!美味しい!学べる!」で繋ぐ仕組み・イベントと考えられます。

今後の町会活動のキーワード

子育て世代と町会の先輩方(高齢者)を、 「楽しい!美味しい!学べる!」で 繋ぐ仕組み・イベント

▼具体的には

- ・小学生向け昔の遊び教室(竹馬、ベーゴマなど)
- ・夏休みの自由研究をお手伝い(地元の歴史を伝えるなど。小学校とのコラボも。)
- ・子ども向けお料理教室(旬の食材を使った料理で食育。外国人の住民がいらっしゃれば、その方の郷土料理などで異文化交流。)
- ・北新宿のスタジオ、スタジオを利用している劇団とコラボし、町会の先輩方と子ども達が一緒に劇。(子どもたちにスタジオを知ってもらうことで、スタジオ側も将来の顧客確保のメリット)
- ・町会の先輩方による託児ボランティア。(完全託児ではなくとも、同室託児のかたちで、読書など自分のことをする母親の横で、子どもと遊んでもらうなど。)



今後の防災教室のご提案



今後の防災教室のご提案①

▶ 今後の防災教室のご提案として、地域の子育て世帯の方々の防災への 関心を高め、町会とのつながりを強めて頂く目的で、お子さんと一緒 に参加したいと感じるプログラムの展開をご提案致します。

子育て世代向け防災教室の新しい切り口

「"親子"で防災を考える! お子さんが楽しめるプログラム満載の**防災まつり**」

- <具体案>
- ①防災紙芝居
- ②防災スタンプラリー
- ③防災クイズ
- ④防災トランプ
- ⑤ジョグパト(防犯) など

子育て世代が子連れで参加したいと思うイベント=子供が楽しめる要素がたくさんある!事が大事。 まずは足を運びやすいイベントにすることがポイント。



今後の防災教室のご提案②

▶ また、従来型の防災教室と、子育て世代向けの防災教室、防災まつりを並行してご実施頂く事で、新しい参加者が増え、地域全体での防災意識を高める事が出来ると考えます。

今後の防災教室展開のイメージ



従来型の「防災教室」 (講演、ワークショップ)

- ・継続的な実施が大事
- ・扱うテーマに子育て関連を検討
- "子どもを守る"
- "赤ちゃんのいる家庭の防災"
- "パパママ防災講座"

など

対象:地域の大人たち

2

イベント型の「防災まつり」

- ・楽しみながら防災を学ぶ
- ・親も子どもと一緒に学べて嬉しい
- ・住民が地域とつながる機会

対象:子供のいる親子



1.防災紙芝居

ストーリー中に入れ込んである「間違い」を探してもらう**参加型の紙芝居**。子どもたちに間違い探しを楽しんでもらいながら、家族でできる地震への備えを学び、防災への意識が身につく紙芝居です。

〈紙芝居概要〉

名称: めざせ!キッズ防災博士!~家でのそなえ編~

大きさ : A3サイズ

枚数: 本編12枚、解説編7枚

所要時間 : 20~30分









※画像:NPO法人プラス・アーツHPより

無償で貸し出し可能です。ママボノチーム秋山までご連絡下さい。



2.防災スタンプラリー

「防災まつり」内で複数のブースを回り、スタンプを集めて回るイベント。 各ブースでは防災に関するクイズや体験に参加してもらい、スタンプラリーのゴールにはプレゼントがもらえる仕組みで楽しく防災を学びます。

【防災スタンプラリー概要】

対象:幼児〜小学生程度(幼児は親子で参加) 内容:ブースでの防災に関連するクイズに回答する 参加賞:全部のスタンプを集めると、プレゼントが貰える









※画像:三井不動産HP「第6回 &EARTH 災害に負けない知識を学ぼう!~防災スタンプラリー~」より



3.防災クイズ

クイズ形式で自分が参加して考える事で、防災の知識を学ぶだけではなく、**自分で防災を 考えるきっかけを作ります**。防災スタンプラリーや、防災教室の中身にクイズを入れるなど 色々な活用が可能です。



クイズを通じて、 防災を**「自分ゴト」**として 認識できるように。

すべてのもんだいをせいかいするとごほうびがあるよ!

東京消防庁HP「みんなの防災クイズ」より http://www.tfd.metro.tokyo.jp/kids/bquiz/index.html



平田京子先生による高校生向け防災教育ゲーム「差しのべる手」 http://mcm-www.jwu.ac.jp/~hirata/kenkyuseika/bousaigame.html





4.防災トランプ

「防災トランプ」とは、自分のための防災訓練とは何か?をひとりひとりが考え、**防災について世代をこえて** 楽しく話し合う場づくりのために開発されたトランプです。



<防災トランプの遊び方>
防災トランプは、「通常のトランプルール」に
「防災の話」をすると、有利なボーナスがもらえる
ルールが追加されたトランプです。

- ※画像・詳細: 防災トランプHPより http://bousai-trump.jp/
- ※「防災トランプ」は通販サイトにて販売されています。



【活用アイディア】

・北新宿2丁目・防災トランプ大会の開催

地域住民どうしがゲームを通じて気軽に交流出来る場を作りながら、同時に防災について話し合う機会を提供。

・柏木小学校児童の防災トランプ体験

防災トランプをきっかけに地域の防災イベントへの興味喚起に。





5.防犯パトロールアイディア「ジョグパト」



ジョグパトとは・・・

日頃のジョギングやウォーキング,ペットの散歩などの機会を通じて 地域のパトロールを行うことで,安全・安心なまちづくりに貢献する 防犯ボランティア活動。

ジョグパトをするメンバーを「ジョグパト隊員」と呼びます。



かしわうさぎのイラスト入りの 「ジョグパトユニフォーム」が目印!

【参考】茨城県つくば市 ジョグパト http://www.city.tsukuba.ibaraki.jp/14210/1422 3/020981.html



Facebook運営マニュアル



全体を通して…

